

さ ざ ん か

第85号、2008年11月

駆け足で寒さがやってきました。ついこの間まで半袖だったのに今はもう長袖のシャツの上にさらに上着が必要になっています。これからしばらく寒い日が続きます。インフルエンザの季節でもありますし、みなさま外出から帰宅した時の手洗い、うがいを怠らずインフルエンザの予防に励みましょう。

10月から不在となった脳神経外科常勤医の件では大変ご心配をおかけしておりますが、緊急の手術はともかく日常の診療は週に2回の脳神経外科外来をご利用いただけますので、ぜひご活用いただければと思います。「頭痛」「めまい」「しびれ」などに関しては神経内科外来が毎日診療をしておりますのでこちらもご利用下さい。

今夏開催された北京オリンピックもなんか遠い昔のような気がします。そうこうしているうちにロンドンオリンピックがもうすぐだ、などという日が来るのでしょうか。そうして気がつけばその4年もの歳月は確実にカラダに老化をもたらすのでしょうかね。ああ、なんかいやですね。時間よとまれ！と叫びたいところですが、ま、いくら叫んでも一緒ですのでここは静かに、確実に日々を過ごしていくしかありません。それにしても50才の人は自分が50才になるとは思わなかったというし、60才の人も、70才の人も、80才の人も、90才の人も同じように思っているのではないのでしょうか。そう思えるだけの年月を過ごすことができたことそのものはとても幸せなことなのですけどね。光陰矢の如し。そう思う感覚は今も昔も変わらないけど、確実に変わっているのは今の日本人は人類史上類を見ない長寿人間だということです。世界一の長寿社会をもっと楽しく明るく過ごしたいと思いますよね。長寿社会を楽しめないとしたら、問題はわれわれではなく我々を支えてくれるはずの官僚や、政治家にありそうです。できるだけもっと明るい老後の展望を示してくれる政治家や政府であって欲しいものと思いますが、無理かなあ？。

俳句

西屋敷喜美子

アルバムの整理進まぬ 秋日和

隣家より 香りを貰ふ 金木犀

夢現 痛みを庇ふ 秋の夜半

病院からのお知らせ

- * インフルエンザの予防注射は11月4日から開始しております。(12月28日まで)市町村から届いた書類を忘れないようにお持ち下さい。
- * 神経内科外来は火曜日が鹿児島大学からの応援医師、それ以外は高橋先生の担当になります。
- * 毎月第3金曜日の血液外来は前院長の野村紘一郎先生の担当になります。その他肝臓病外来、糖尿病外来(月、金:福重先生)の専門外来も開設しております。
- * 4月から研修医が当院で1年間の研修を開始しております。米澤英理先生です。よろしくお願いたします。
- * 10月から脳神経外科常勤医がいなくなりました。鹿児島大学病院から応援にきていたいる外来は週2回開設しております。火曜日と金曜日です。お間違えないよう。
- * 骨密度、測ってみられましたか?ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみたいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。骨年齢:あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRIで脳の検査をしてみませんか?目的は脳卒中や認知症(ボケ)の予防につながることがあるからです。また、脳動脈瘤の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。無症候性の病変(症状はないけど梗塞がある)がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- * MRIは腰痛の検査にも威力を発揮します(脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど)。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。
- * 近々「健康教室」を開催予定で現在準備中です。(12月6日元気こころ館にて開催予定)。知りたいこと、ご希望のものがあれば何でも結構ですので外来看護師にお伝え下さい。

私はこんな人に会いたい 宮園辰夫

- ・印刷したお礼状に一言でも自筆のお礼の言葉が書いてある人。
- ・出されたお茶に両手を添え、「どうぞ」と心をこめすすめる人。
- ・ドアを押して先に入った人が、後から来る人のために、ドアを抑えて待っている人。
- ・狭い駐車場で、後から来るのであろう車のために、一生懸命幅寄せしているドライバーの人
- ・右折車がシグナルを上げ、流れの切れるのを待っているとき、必ず一旦停車して道を譲ってくれるドライバーの人
- ・狭い道で離合待ちのとき、必ず手を上げて礼をするドライバーの人
- ・観劇会や電車の中など、後の人のために、前から詰めて座る人
- ・新聞といえば、メガネを添え、メモ帳をというと、鉛筆を添えて出す人
- ・運動場、公園などで人の捨てたタバコの吸殻をさりげなく拾い、ゴミ箱に入れてくれる人。
- ・病院や集会場で、人の脱いだ履物等を、自分のものと一緒にちょっと揃えてあげる人。
- ・酔って帰る客の後ろ姿を、角を曲がるまでジッと見送っている人。
- ・今一度と言う愚かな言葉は私は好きでない。

「身についた能の、高い低いはしょうがないけれども、低かろうと高かろうと、精いっぱいごまかしのない、嘘いつわりのない仕事をする人が好き」

如何なる仕事に従事するにも、不平不満を念頭におかず、正直に勤め、屈せず、撓わず将来向上発展につくすこと。

色々書いたけれども難しいですよ。でも、勉めませう。

さつま狂句

夏祭い剪ん子よか娘ん子祝儀が飛で

便利ぢゃち携帯よ買たや電話賃が上がつ

日本人の民度 カラーマンのオンナ（とカラーマン）

もともと男尊女卑の傾向があるわが国だけど、最近では男女共同参画法もできたし、ずいぶん女性の地位も向上したと思うのは思うわよね。だけど、女性管理職の数とか平均賃金などからみるとまだまだ女性の地位は低いと思うの。というか、あまりにも低すぎるわ。もっと日本の女性は頑張らないといけないわ。（だ、だからといって、この原稿を書くことを俺からとりあげることはないと思うけど・・・まあ、でもいいか、たまには逆転もいいかもしれないね。）

あたしは日本人は勤勉で礼儀正しく、正直な民族だと思っていたわ。江戸末期とか明治初期に日本に来た外国人はそのことに驚いたらしいものね。まあ、もっともそういうことを本に書いて日本で出版する人達は、なかなかこの黄色いサルどもはみすぼらしくて、意地汚く、しかも小ずるいなどは、思っただけでも本には書かなかったかもしれないわね。

だいたいあちらの野蛮な白人さん達は黒人を奴隷にして植民地を経営したり、家畜よりも軽く人身売買を平気でやったり、インディオを虐殺したり、あるいは陵辱してたくさん混血児を残してその混血の子孫が現在では国家を作ってるくらいの激しく民度の低いことばかりやってきたような人達だから、たぶんまだ開国前の日本人をみての評価も彼らの先入観（アジア人はレベルが低い）から比べたら、意外とこの島国の黄色い人種はレベルが高いぞ、と思っただけなのかもしれないわね。

まあ、白人さん達がどう思おうとあたしは日本人はずいぶん民度が高い民族だと思っていたのよ。（思っていた、じゃなくて今でも日本人の民度は高いだろうよ。民度てのは国民の良識とかそういう意味だろう？ちなみに広辞苑では「人民の生活や文化の程度」と書いてあるけど）

中国人のギョーザ事件とか、似非ディズニーランドとか、ドラエモンもどきの人形とか、あるいはアメリカ人のマネー至上主義とそれによりもたらされる超格差社会とか医療保険のない人々が何千万人もいる現実とか借金ばかりする国民とかみていると、ああ、なんて節度のない民度の低い国民なんだろうといつも思っていたわ。日本人は中国人やアメリカ人とは違うわ。たぶんその違いは民度の差によるんじゃないかしらてね。

特に根拠はないけど、なんとなくそう思っていたの。あるいはそう思わされてきたのかもしれないけど。

でも、最近、あたしたちの周りをちゃんと見てみると、とても日本人の民度が高いとは思われなくなってきた。ノリをつくるために工業用に輸入した汚染米を食糧にする。一度客が食べ残したものをまた別の客に出す。作った日ではなく倉庫に置いたあとお店に出した日を製造年月日にする。とても信じられないことばかりだわ。（まあ、それは確かにそ

うけど、だいたいどこの国でも似たようなことをやってるんじゃないだろうか。そんなものでしょうよ、世の中は。まだまだ青いねえ、オネエさんは)

どこの国でもやっているから日本でもやっても仕方ないだろう、というあなたのその姿勢こそが民度の低さを露呈しているわね。戦後、ヤミ米を食べずに飢え死にした裁判官の話聞いたことがない？法を守るものが法を犯してまで食べ物を手に入れてはいけないという信念からだそうよ。あたしなんかは、家族のこととか考えると何もそこまでしなくても、という気持ちもないことはないけれど、問題はそういう心意気があるかどうかよ。

だいたいモンスター教師とか、モンスター家族とか、モンスター患者とか、常軌を逸した人達がどの分野でも大量に出現していることは民度の低さの現われだわ。世の中、もう一度見渡してみて。途中で無責任に職責を放棄する総理大臣。人の悪口を言うばかりの国会議員。信じられないほど無責任な官僚（社会保険庁が代表だろうね。社会保険庁の役人だけが悪いとは思えないから、どの省庁も程度の差はあれ無責任体質はおなじだろうよ。とまたこんなことを言ってしまったけど）。論文ねつ造する学者（ああ、遺跡関係かなんかだったな）。自分の子供を先生にするために採用試験で不正をする教師。しにかけの患者をたらい回しにする医療。誰でもいいからと通行人相手に大量殺人する若者。子供を虐待する親。親を殺す子供。信じられないピンハネをする人材派遣業者。耐震偽造する設計士。放火をする消防士。事件をねつ造する警察（志布志事件だな）。ああ、もうきりが無いわ。

他国民を拉致し一方では自国民を飢餓させている北朝鮮や、食や水や空気の安全が確保されていない中国や、マネーにまみれたアメリカをみてなんて民度の低い人たちなのかしらなんて思っていたあたしは大間違いだと気がついたわ。あたしたちこそ民度が低いニッポン人に成り下がってしまっているのよ。

（うーん。まあそうかもしれないけど、あまりに水が清いと魚がすまないともいうしね。どこかで清濁併せ呑む、という面もいるんじゃないだろうか。）

そういういい加減な態度が民度の低さを生むって分からないのかしら。事なかれ主義。大勢順応主義。総論賛成各論反対の人間。やっぱり、カラーマンてろくなもんじゃないわね。（まあ、でもね。現実には現実で、ヤミ米を食べてでも人は生きていかなければいけないのよ。）

生きるために食べるか、食べるために生きるのか。手段と目的をはきちがえないようにしないと、いつまでも民度は上がらないわ。（はいはい。民度が上がればいいですねえ。でも、民度が上がってどうなるのだろうねえ。それでみんな幸せになれるのかなあ？）

みんな幸せになれなくても少なくともあたしは民度をあげて幸せになる。(そ、それって自分だけ、ていうのはずいぶん民度が低くないか?) ふん。人間はそんなものだわ。誰よりも、何よりも自分が一番大事に決まっているわ。

(国民一人ひとりの民度をあげることはけっこう難しそうですねえ。たぶん、一人ひとりが、マスコミの入れ知恵とかではなく、自分の頭で考えたりみんなで議論することが大事でありその中からステキな民度の高い日本人が出来上がっていくのかもしれませんが、いったいつの日になることでしょうか)

一切無常 by 坂村真民

散ってゆくから
美しいのだ
毀れるから
愛しいのだ
別れるから
深まるのだ
一切無常
それゆえにこそ
すべてが生きてくるのだ

編集後記

世界的な金融恐慌なんて関係ないわ、などと思っていたらどうもそういうわけにはいかず、来春の学生の求人が極端に減ったり、デパートの売り上げも大幅に減ったりして世の中確実に不況に向かっているようです。なんで一部の悪徳ギャンブラーのために、とは思ってもそれが事実であるしそれがグローバルゼーションということなのでしょう。

金の亡者たちの影響を最小限にする知恵が今後もっとも大切な知恵のひとつなのかもしれませんね。俺達のことほっておいてくれ、と言ってもそれが通用しないシステムがグローバルゼーションなんだとしみじみ思いました。本来、リーマンブラザーズが潰れようとうとうと知ったことではなかったはずなのですけどね。所詮、海の向こうの強欲人間どもの失敗談だろう、と笑って済まされない時代にいきているという、持ちたくもなく自覚は持つ必要があるようです。

発行所：さざんか編集局 発行責任者：高橋浩一